

# 自己評価結果公表シート（平成30年度）

学校法人育保学園 アエしくまのだ

## 1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるような環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

## 2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

## 3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・遊びの環境の充実を図る
- ・保育者の資質の向上
- ・地域に根付いた保育園作り

## 4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○遊びの環境の充実を図る ・日々の振り返りを十分にいき、子どもの姿、発達に応じた環境を整えられるように努める ・日々繰り返し遊べるような、保育の進め方を大切にする	・園庭での外遊びに関しては、日々職員間で振り返りの時間を設ける事で、問題定義や子どもの姿の共有化を図った。昨年度の反省として、環境面での担当を決めて遊びの内容を考えるようにしてみたが、担当よりも全体で決めていく方が効率良かった為、そのように変更した。 ・外遊びに関しては、日々繰り返し遊べる環境の設定ができたが、室内での製作や絵画系の遊びに関しては、単発的な活動になりつつある時があったため、職員間で話し合い継続性を持って遊べる環境設定を心掛けるようにした。
○保育者の資質の向上 ・体系的な研修計画を作成し、積極的に研修に参加する	・体系的な研修計画を作成した事で、ある程度計画的に研修に参加する事ができた。ただ、研修で学んだ事を園に持ち帰って、研修報告書を共有する程度しか行えなかったため、園内研修を行ったり、報告を行ったりする事ができなかったため、次年度は、研修後の園へのリターンの方法を考えていく必要がある。
○地域に根付いた保育園作り ・園庭開放の充実を行い、地域の子育て世帯が気軽に足を運んでもらえるように努め、保育士ならではの専門性を発揮し、保護者に対して、適切な助言を行ったり、相談に乗ったりする	・6月から、土曜日に熊野田幼稚園との共同保育が始まった事で、本園での園庭開放ができなくなった。しかし、毎週水曜日に開催する事で、年間で100組以上の方に利用して頂けた。 ・園庭開放では、在園児と一緒に遊ぶ機会や、絵本の読み聞かせの機会を設けるようにした。又、園庭に実ったゆずの実をもらって香りをかいでもらう等の自園ならではの取り組みを行う事で、保護者の方に楽しんでもらえるようにした。 ・日によっては、来られた方に挨拶程度しかできずに終わってしまう事もあったため、来られた方には、必ず声を掛けて気軽に利用してもらえるように、次年度も頑張っていきたい。

## 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・受容的な関わり方の学び	・昨年度同様に、子どもとのかかわり方に関しては、定期的に振り返ったり、学んだりする機会を設けていきたい。又、今年度は、特に子どもへの言葉掛けに重点を置き、適切な言葉掛けを行っていきたい。
・保護者と共に作る保育園作り	・園環境に関して、保育者だけでなく保護者の方にも参加してもらい、遊具等の作成に協力してもらい、共によりよい園環境作りを行っていきたい。
・主体性を大事にした保育	・保育者主導の保育でなく、子どものやりたいという気持ちを大切に保育の進め方を行っていきたい。